

データで読み解く ライフキャリアを豊かにする 地域参加



中村 天江

自己紹介

中村 天江 (なかむらあきえ)

連合総合生活開発研究所 主幹研究員
 リクルートワークス研究所 客員研究員
 中央大学戦略経営研究科 客員教授

兵庫県生まれ、埼玉県育ち。1999年株式会社リクルート入社、2009年リクルートワークス研究所に異動。2016年一橋大学にて博士号（商学）取得。2021年10月連合総研に転職。

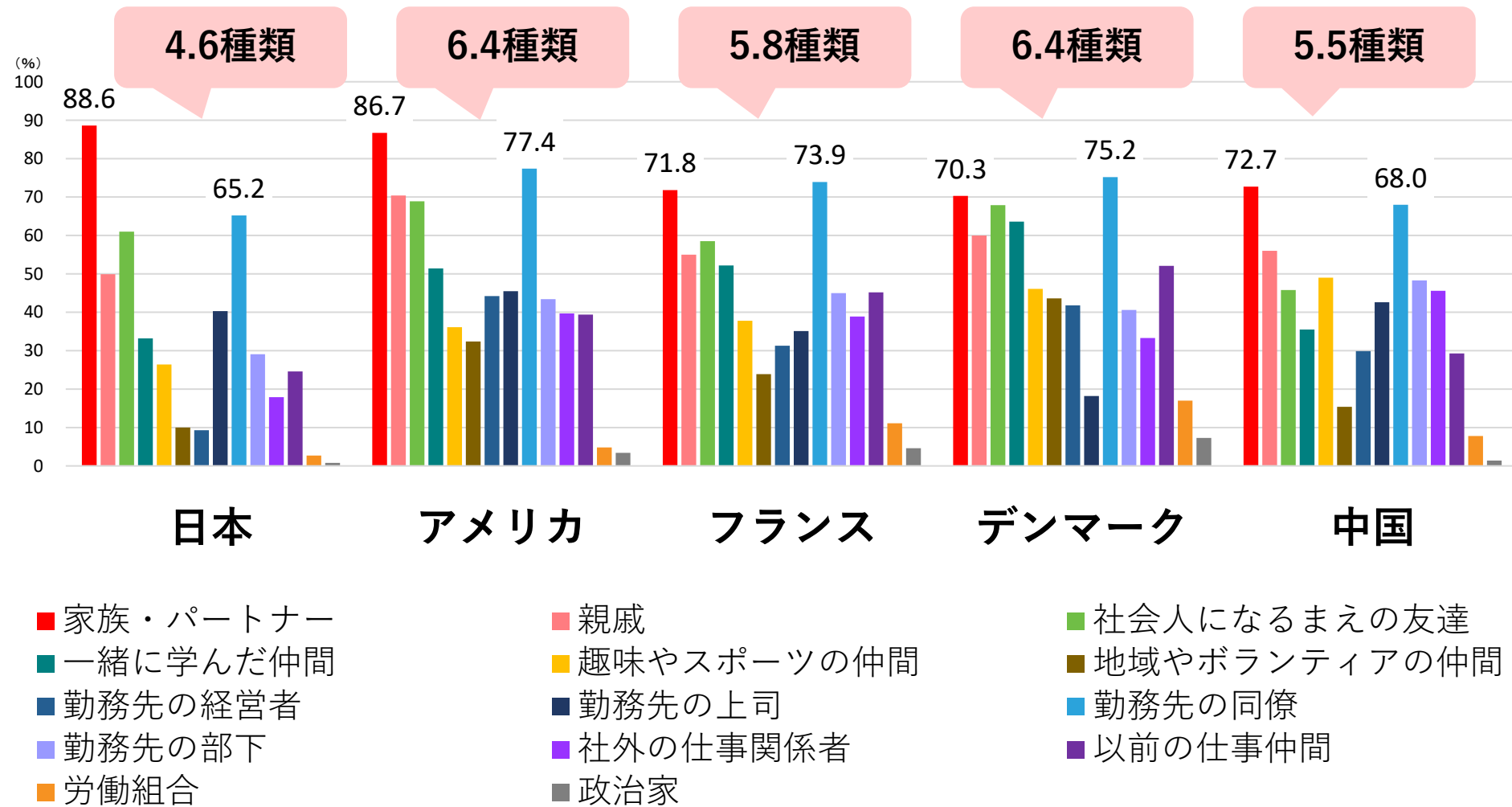
『働くの未来』をテーマに調査研究や政策提言を行う。「2025年」「Work Model 2030」「マルチリレーション社会」などをリクルートワークス研究所より発表。現在「労働組合の未来」の研究会を推進中。

リオデジャネイロ2016オリンピック大会で生き生きとしたボランティアに接し、ボランティア研究を始める。



家族と職場以外のつながりが少ない

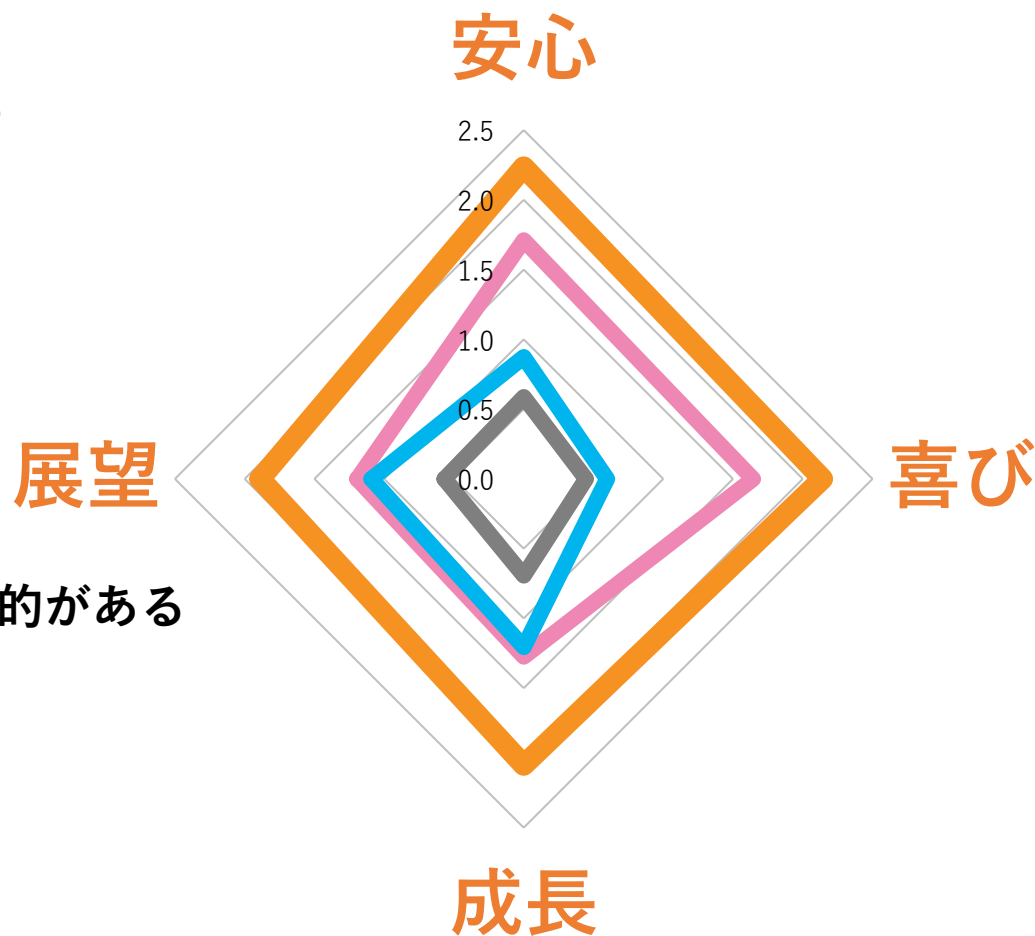
交流のある人間関係



「ありのまま + 共通の目的」が人生を豊かに

人間関係の質と、
個人がそこから得ているもの

- ありのままでいられる&共通の目的がある
- ありのままでいられる
- 共通の目的がある
- どちらもない



ボランティアは充実した人生への一歩



ライフキャリアにおける
Hansenの4つのL

ボランティア活動は多彩

福祉

災害復興

Love
愛

Labor
労働

プロボノ

環境

Volunteer

越境学習

イベント

Learning
学び

Leisure
余暇

スポーツ

ライフキャリアにおける
Hansenの4つのL

オリンピック・パラリンピックのボランティア



大会後も
スポーツボラン
ティアの活動を
続けたい

83%

活動で得たもの
を積極的に仕事
に活かしたい

67%

今まで
ボランティア
活動をしたこと
がない

22%

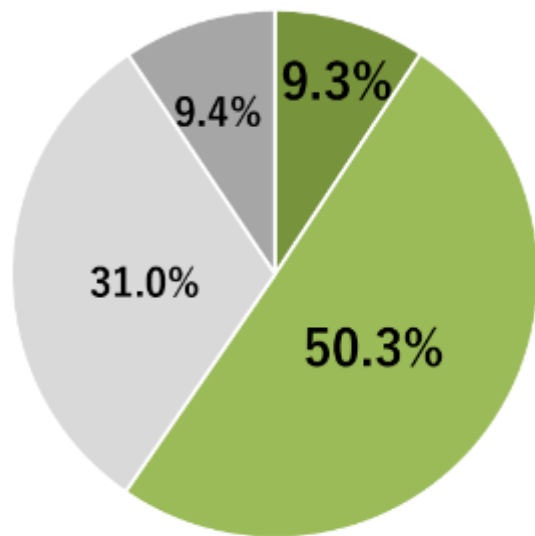
障がいを持つ人
を身近に感じ、
特別視しないよ
うになった

83%



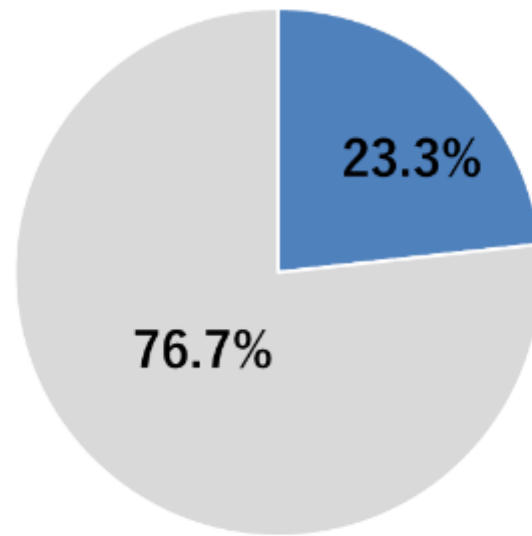
関心 6 割、経験 2 割のギャップ

ボランティア活動 に対する関心



- とても関心がある
- 関心がある
- あまり関心がない
- 関心がない

ボランティア活動 の経験



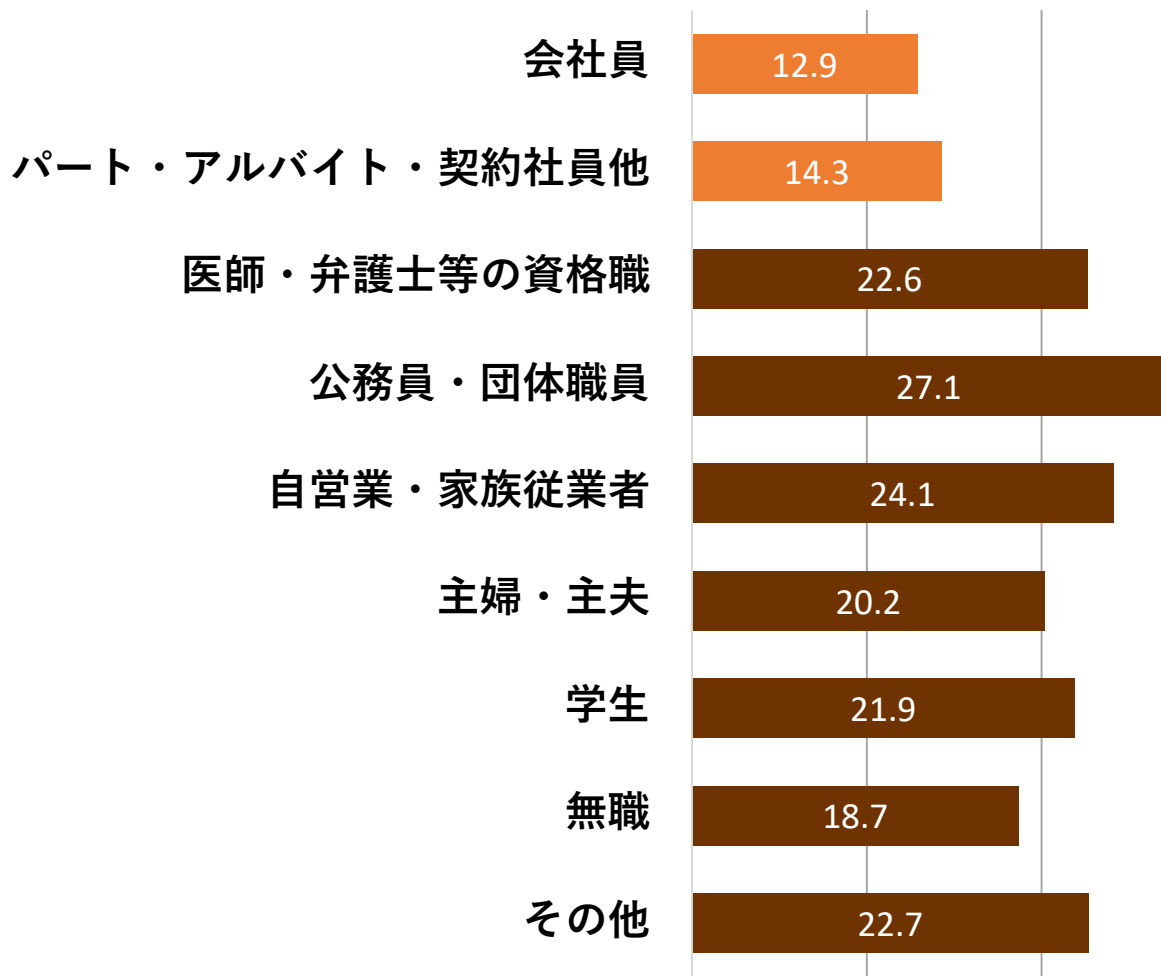
- 経験がある
- 経験がない

文化は創り、継承するもの

ボランティア行動者率の 都道府県順位

順位	ボランティア行動者率	
30	三重県	26.7%
31	栃木県	26.2%
32	千葉県	26.0%
33	茨城県	25.8%
34	兵庫県	25.7%
35	東京都	24.6%
36	神奈川県	24.4%
37	徳島県	24.3%
38	和歌山県	24.2%
39	埼玉県	24.0%
40	北海道	23.8%
41	高知県	23.7%
42	新潟県	23.5%
43	京都府	23.2%
44	愛知県	23.1%
45	青森県	22.7%
46	沖縄県	22.4%
47	大阪府	20.6%

ボランティアの経験率



個人・企業・社会 三方良しのボランティア文化を

個人

まずはやってみる。合わないことも、上手くいかないことも経験。ボランティア活動が充実してきたら、周囲に話す、友人を誘う、自分で企画・運営する。

企業

社員のキャリア支援策としてボランティアを推進する。社員がボランティアを「始める・続ける」サポートを。効果的なのは経営からのメッセージと上司のマネジメント。推奨にあたっては、社員の自発的意思を尊重する。

社会

多様なボランティアを社会に広げていく。
メガイイベントはボランティア裾野拡大の絶好の機会。
⇒ 東京ボランティアレガシーネットワークなど

